

【ナース花きりん葛西】（岡田）

6名のスタッフで日々奮闘しています。作業療法士1名 他看護師スタッフ5名内男性2名とバランスが取れ、ご利用の方やそのご家族の皆様からも信頼を得訪問させて頂いています。少しですが訪問時のエピソードを紹介します。ご利用の方の子供と野球をしたり、赤ちゃんにミルクをあげている間に食事をとってもらうなど家族支援を通しより安心して暮らせるお手伝いをしています。又散歩にも積極的に声かけし、季節を感じてもらい時には滑り台と一緒に楽しんでみたり「今を大事に生きる」を実践しています。男性スタッフは特にパソコンや電化製品へのノウハウが豊富で、生活を支える為に大事な役割を果たしてくれています。ご利用の方が自分の答えを見つけられるよう、私達も一緒に悩み揺れながら歩いています。

〈今年の抱負〉

葛西店は市川統括所長の下、船堀店と二人三脚で歩んでいますので、全く同じ抱負とプラス④実習生を受け入れながら共に学んでいきます。今年もよろしくお願ひ致します。

スタッフ紹介コーナー

～スタッフからスタッフへ
バトンタッチで職員をご紹介します～



【市川 雅美（いちかわ まさみ）
ナース葛西・船堀店勤務】

- ①好きな食べ物 ⇒ カレー(インドカレー好き)
だから...江戸川区は大好きです！
- ②出身地 ⇒ 千葉県
- ③仕事をしている上で大切にしている事 ⇒ 『一訪問 一笑い(*^^)v』
- ④自己PR ⇒ 花きりん立ち上げから当初より関わらせていただいております。ご利用の方やスタッフ・関係者も徐々に増え『葛西エリアでの花きりん』存在感は半端ないですね！看板も存在感あります(笑) 花きりん愛♡が強いです。江戸川区で、みんなと仲良く明るく元気に過ごしていきたいと思ひます。 宜しくお願ひ致します。チャームポイントは、スマイルです☺ 見かけたら気軽に声をかけてください！！
- ⑤次のバトンは ⇒ やっぱり理事長なしでは... 理事長『鶴岡恵子さんにお願ひしま〜す♡』

コラム～ほっと一息～

新年を迎え、お正月の名残をほのかに感じる今日この頃。お正月料理ではお馴染みの、カニについて思いを馳せてみました。カニはカニでも、カニカマについてです。数年前から密かに注目を浴びていた食べ物ですが、ここで改めて...。実は、栄養価的にも優れているそうです。残念ながら、カニを名乗っていないながら、成分にカニは全く入っておらず、魚のすり身でできているようです。魚というだけあって、タンパク質が豊富に含まれていながら、脂質控えめという仕上がり。それでいて、ちょっとカニを食べたような気持ちにもさせてくれる存在。そして極めつけは、赤と白というおめでたい雰囲気の外見。改めて考えると、とても新年にふさわしい食べ物のように感じてくるのではないのでしょうか。2021年、カニカマのめでたい姿を眺めながら、良い一年になることを願ひます。



広報委員 笹本 亜衣

編集後記

前月号より新編集長に就任した吉川です。昨年よりリニューアルした『花きりん新聞』も2年目を迎えました。新たに3名の編集委員を加え、更に魅力ある紙面を作っていくよう努力していきます。今年は「コラム～ほっと一息～」 「スタッフ紹介コーナー」の2つの連載を新たにスタートさせます。特集記事とともに、多くの読者の皆さんに楽しんでいただけたらと思ひます。それでは、2021年もよろしくお願ひいたします。



(吉川)



花きりん新聞

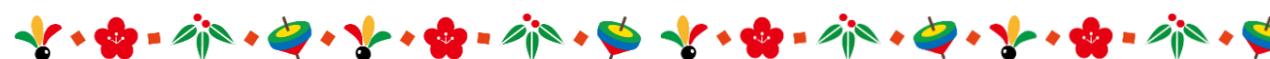
第21号
発行者 コラボえどがわ
令和 3年 1月 発行

新春のご挨拶 ～2021年の抱負～

新年あけましておめでとうございます。昨年がコロナ色の一年だったと言っても過言ではありませんでした。ほんの一年前、日本で開催されたラグビーワールドカップで、「ONE TEAM」の結束力に胸を熱くし、見ず知らずの者同士が肩を組んで声援を上げたのが何年も前のように感じています。「3密」を避けよと繰り返され求められる日々には皆さまウンザリされているのではないのでしょうか。去年から「妖怪アマビエ」がキャラクター化され、お守り、文房具など関連グッズが次々と発売されています。江戸時代に描かれたアマビエが、令和の時代に再び登場したのは、治療法が未確立で、感染者拡大が止まらず死亡者も多く出ていることから、人々がコロナの終息と経済の回復を切に願う気持ちを表している現象だと思ひます。

花きりんでは、人との距離（＝ソーシャルディスタンス）を取っていても、心の絆を最も大切に考えています。皆が同じ感染の恐怖と闘っている今だからこそ、様々な苦難にさらされている人を孤立させないように、心に寄り添う対話を大切にしていきたいと思ひ今日この頃です。今夏には、一年延期になった東京オリンピックの開催が予定されています。コロナ禍での開催か、ワクチン接種が浸透して世界中がコロナに打ち勝つての開催になるのか、皆様はどうお考えですか？ともあれ一日も早く気兼ねなく会食が出来、グータッチではなくハイタッチできる日がくることを祈っています。どうかコロナに負けないで一緒に乗り越えていきましょう！！

理事長 鶴岡 恵子



【ハート花きりん】（鶴岡）

総勢7名のハート花きりんです。障害福祉サービスの利用計画を担当する「計画相談支援」を中心に「地域移行支援」、「地域定着支援」の3つ事業を展開しています。ご利用の方が、福祉サービスを利用しながら、地域生活を安心して過ごすことができ、自立を目指していけるよう支援しています。

〈今年の抱負〉

- ①コロナに負けるな！の気持ちで、全員が感染防止対策を徹底していきます。
- ②花きりんのチームワークを強みにして、一人一人が誠意をもってご利用の方にとって何が必要かを考え、共に悩み、力を尽くします。
- ③サービスの質的向上ができるように、切磋琢磨していきます。最後に、今年の一文字が「笑」で表せるような一年になるといいですね！

【ワーク花きりん】(吉川)

昨年では新型コロナウイルス対策として、ワークの利用のあり方も大きく変化しました。

- 1日3部制による利用制限(1回10人迄)
- 消毒・手洗い、検温、行動振り返りシート記入など衛生の徹底
- 緊急事態宣言時の在宅支援 など

このような取り組みを、ご利用の方・スタッフ丸となり、試行錯誤しながら実施してきました。確かに大変な一年ではありましたが、多くの経験を積める貴重な機会にもなりました。今年もコロナ禍での日常は続くと思われま。その中で私たちに何が出来るのかを常に考え、最善を尽くしていきたいと思っています。

〈今年の抱負〉

- ①『アフターコロナ』を見据えた新しい利用のあり方を実践していく。
- ②昨年実施できなかった就労支援を再スタートしていく。
- ③作業やプログラム等の活動の幅を広げていく。

4ページに続きがあります。

【ナース花きりん船堀】(市川)

総勢:8名で明るく元気に、自転車にて区内を走り抜けています。

日常体調管理を基本に、様々なご利用の方の自立に向け寄り添い、伴走者として一緒に取り組んでいます。

私たち支援者の一人一人に求められるものは、精神科領域の専門性だけでなく、生活に関するあらゆることにおいて複合的な専門性を持たなければならないということだと思います。(子育ても一から勉強中)

私たちも日々一緒に勉強させて頂いていますのでどうぞよろしくお願い致します!!

〈今年の抱負〉

- ①まずは、ご利用の方・ご家族・スタッフと全ての関係者がコロナに負けず健康であることを目標にします。
- ②昨年は、子育ての新規相談が多くありました。今年も様々な新規相談に尻込みせずチャレンジ致します。
- ③ご利用の方やご家族と共に、焦らず一歩一歩、私たちも成長していきます。

あーと花きりん 利用者作品紹介



『花きりん』

制作者 ムツ



『星(刺し子)』

制作者 マリーちゃん



『刺し子』

制作者 じゅんじゅん



『花きりん』

制作者 ぴよこ



『レース編み』

制作者 I.M.



『レザーバッグ』

家族のために作った作品です。ワークのレザー作業で学んだ技術が活かされました。

制作者 T.S.

進むのは
私の心が新しい唄にも踊るから

あゆみ
進めば何かに出会いそして別れる
進めば陽が昇り私の後ろには長い影が出来る
振りむくのは戻りたいからではなく
忘れた音にもう一度出会うため
きつと懐かしい響きになるものがあるから

作者 かなで



『手作りリース』

制作者 K.M.

～ WITH コロナ Q&A ～

今回は、訪問して質問が多かったことに対して回答していきたいと思っています。

Q1. PCR検査と抗原・抗体検査って何が違うの？

A. PCR検査・抗原検査・抗体検査の違い

	PCR検査	抗原検査	抗体検査
目的・特徴	現在の感染状況を調べる	現在の感染状況を調べる	過去に感染したかを調べる(感染初期での判別は可能)
採取方法	唾液から採取	鼻咽頭ぬぐい液から採取	採血(指先)
採取場所	専用キットで自身で採取可能	医療機関	専用キットで自身で採取可能
検査の所要時間	40～60分	15～30分	15分程度
検査の特徴	採取時のリスクが低い	感染予防の徹底が必要	採取時のリスクが低い
精度	精度が高い	PCR検査より精度は若干劣る	抗体を調べるという意味では精度は高い(今、感染しているということではないため注意)

Q2. 熱や咳の症状があり、感染の心配があるがどうしたら良いか？

A. まずは、かかりつけ医に相談。内科のかかりつけが無い場合は、この機会に近くの内科医を探しておくと思います。かかりつけ医のいない場合は「東京都発熱相談センター」03-5320-4592(24時間、土曜、日曜、祝日を含む毎日)にご相談下さい。

または、「江戸川区新型コロナウイルス感染症相談センター」03-5661-2475(平日8:30～17:15)

編集委員 山田 亜